



資料3

国土交通省関連の取組み

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づくハード整備

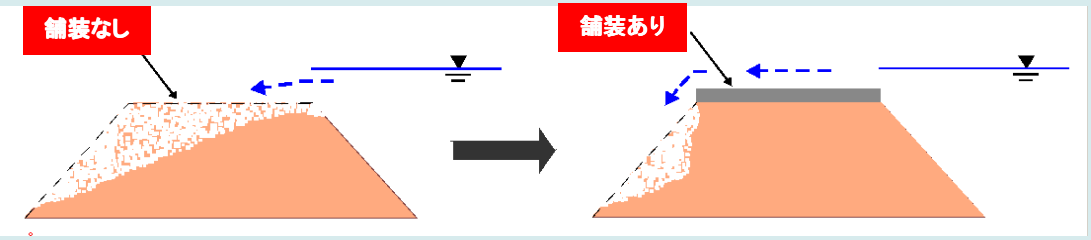
取組の概要○天端の保護【吉井川水系金剛川】

平成27年9月関東・東北豪雨（鬼怒川の破堤）を踏まえた対策として、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防構造を工夫する対策を平成32年度を目途に今後概ね5年間で実施する。
吉井川水系金剛川においては300mの天端保護を実施した。



取組の具体的な内容

平成28年度は金剛川の堤防天端の保護のため、天端舗装（アスファルト舗装L=300m）が完成。
期待される整備効果として、堤防天端をアスファルトで保護し堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には、法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばせることが期待されます。



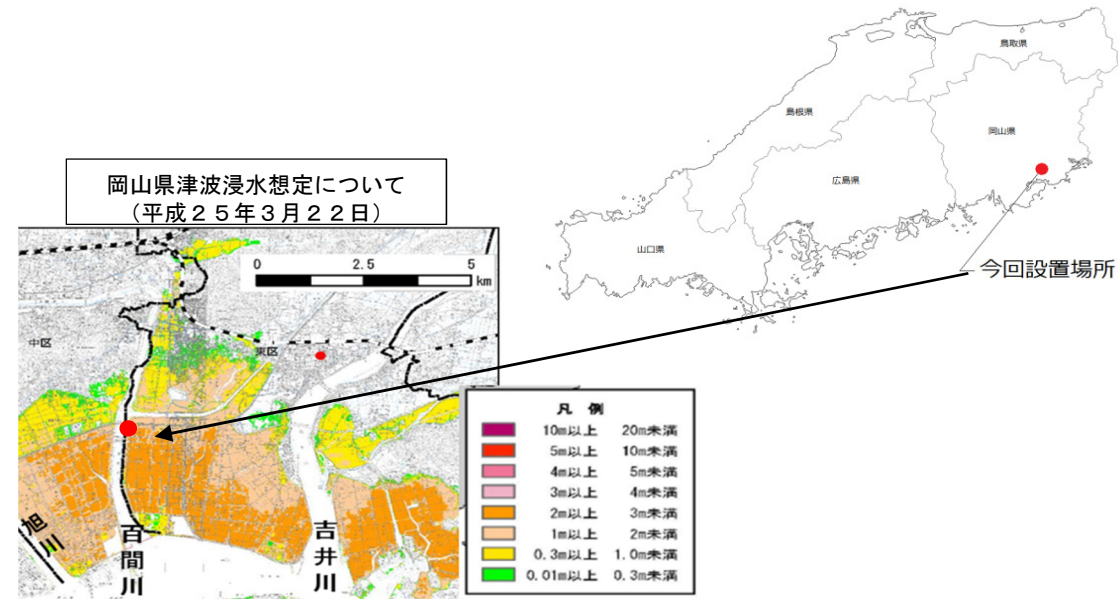
河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備

○避難階段【旭川水系百間川】

【取組の概要】

今回避難階段を設置する箇所は、岡山平野に広がる低平地（ゼロメートル地帯）に位置し、洪水・高潮・津波の浸水が破発生した場合、浸水深が深い。

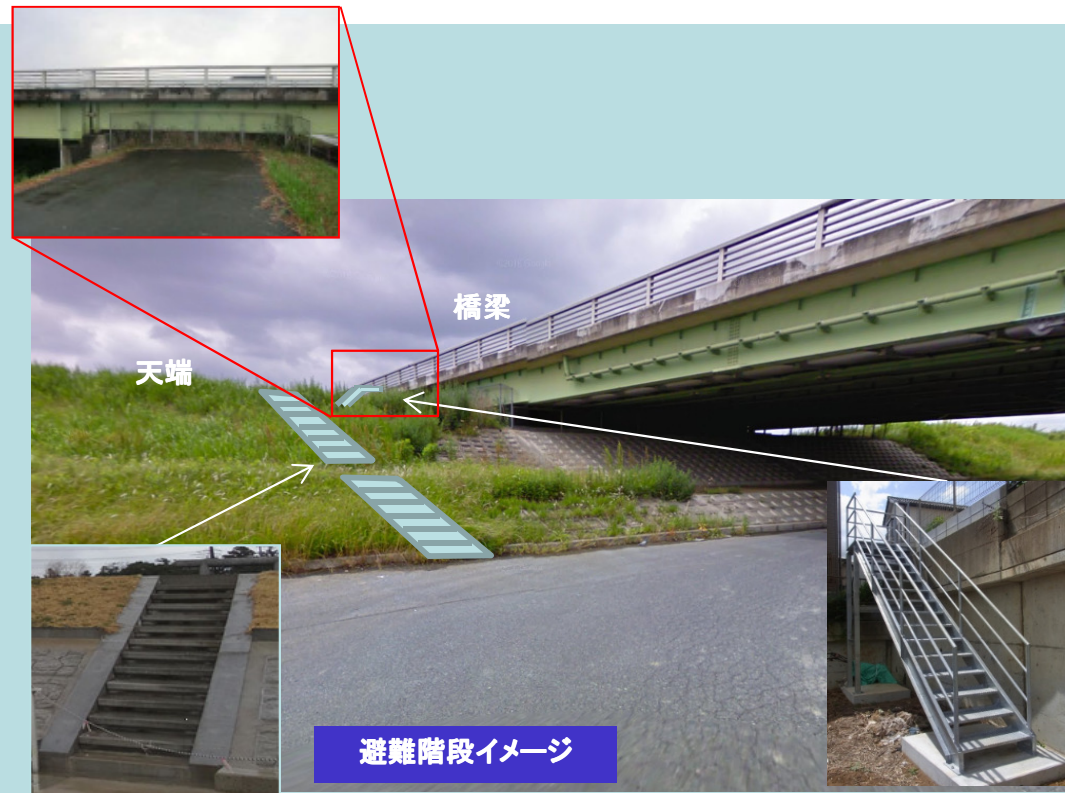
東（吉井川）西（百間川）南（児島湾）北（砂川）を堤防に囲まれ、周辺には高台や高層のビル等の建造物も少ない。このため、唯一の高台である河川堤防と国道2号を結び、避難経路として活用するものである。



取組の具体的な内容

現況は堤内側市道から堤防上までの経路が近傍に無く、堤防天端から橋梁（一般国道2号百間川橋）路面まで高低差があり、直接橋の上へは上がることが出来ない。

堤防天端まで上がる階段及び、堤防天端から橋梁路面へ上がることが出来る鋼製階段の2つの階段を設置することにより、垂直方向への避難が可能となる。更に橋から東西方向（対岸等）への避難、水防活動や平時の河川巡視にも有効活用する事が出来る。



- 低平地が広がる岡山平野を抱える旭川の下流部において、関係機関が連携し、住民の生命を守るために先を見越した早期の防災対応を検討する「旭川水害タイムライン検討会」を平成28年1月に発足。
- 勉強会、検討会等を通し、議論を重ね、平成29年3月に旭川水害タイムライン《平成28年度版》を作成し公表。

●策定までの経緯

平成28年

1月18日 (月): 発足式

2月23日 (火): 第1回勉強会

3月17日 (木): 第2回勉強会

7月27日 (水): 第1回検討会

11月1日 (火): 第2回検討会

12月6日 (火): 第3回検討会

平成29年

1月17日 (火): 第4回検討会

2月20日 (月): 第5回検討会

3月23日 (木): 完成式

●旭川水害タイムラインの特徴

- 旭川下流は、広大なゼロメートル地帯が広がっているため、水害に対して脆弱な地域を対象としていること。
- 旭川の堤防決壊による洪水氾濫だけでなく、内水氾濫も考慮していること。
- 検討会メンバーは岡山市内の27機関が参加し、メディア機関が多く参加している。(NHK、民放5社、岡山シティFM)



検討会 発足式

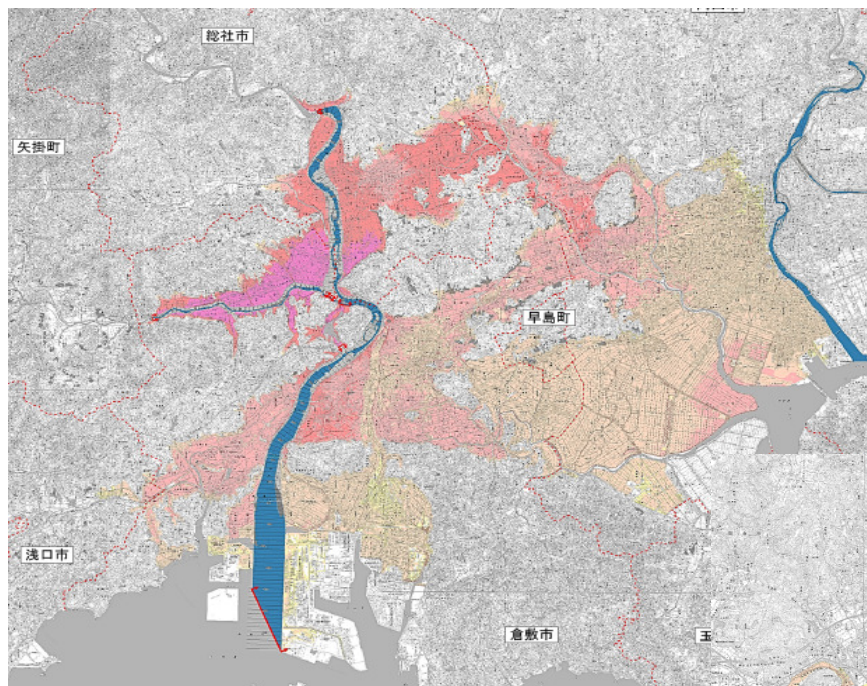


旭川水害タイムライン
《平成28年度版》完成式

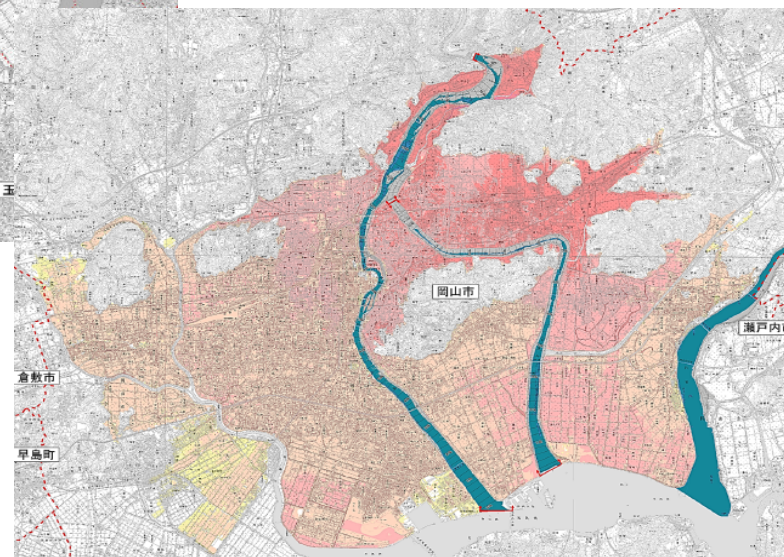
想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表

- 平成27年5月の水防法改正を受け、平成29年4月19日に、岡山三川について、現行の洪水に係る浸水想定区域を、想定し得る最大規模の洪水に係る区域に拡充して公表
- 従来の洪水による浸水区域、浸水深に加え、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸侵食）も新たな情報としてあわせて公表

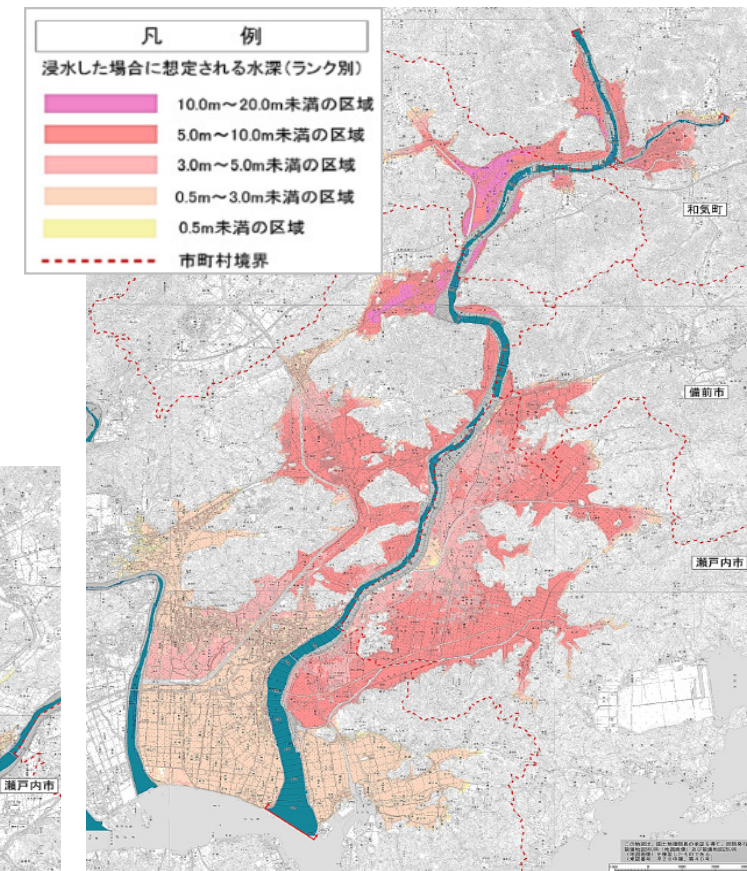
想定最大規模降雨による浸水想定区域（平成29年4月19日公表）



高梁川・小田川
（総括図）



旭川・百間川
（総括図）



吉井川・金剛川
（総括図）

岡山県、岡山市の実践的安全教育総合支援事業に推進委員として参画し、学校防災アドバイザーとして職員を派遣。モデル校及びモデル地区で研修や防災訓練等に取り組み、教職員及び児童・生徒の防災意識の向上につながっています。

学校だけではなく地域・関係機関・家庭と連携した取組みも行われ、学校が核となって地域の防災意識を高めることに役立っています。(岡山地方気象台)



平成28年8月18日、美咲町柵原地区合同防災教育研修会において、教職員を対象に、過去に発生した災害・想定される災害(ハザードマップ等を利用)を説明し、自然災害を身近な問題として感じてもらい、自然災害から命を守るために学校現場で、防災気象情報をどのように利用したらよいのかを解説しました。



平成28年10月11日、岡山県立玉島高等学校において実践委員会(学校・地域・関係機関)に参加、防災についてのアドバイスを行いました。